

共同研究「高分解能衛星の多方向観測による画像群を使用した
高精度 3 次元データの取得と利活用に関する官民共同研究」公募要項

1. 共同研究の名称

高分解能衛星の多方向観測による画像群を使用した高精度 3 次元データの取得と利活用に関する
官民共同研究

2. 共同研究の実施期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日

3. 共同研究の目的

高分解能衛星の多方向観測による画像群を使用した DSM/DEM/精密オルソ画像について、精度を評価するとともに、災害時を想定した各種データの高精度化や利活用に対する調査や手法開発を進めることを目的とする。

4. 共同研究の内容

1) 高分解能衛星の多方向観測による画像群から生成された各種データの提供

共同研究者（公募）（以下単に「共同研究者」という。）は、対象地区（つくば市周辺、三浦半島周辺、硫黄島、西之島）における観測諸元の異なる複数の DSM/DEM/精密オルソ画像等の各種データ（以下「各種データ」という。）を共同研究者の負担で準備し、国土地理院に提供する。なお、上記について、共同研究者は国土地理院に、共同研究期間の前半に高分解能の 3 次元情報を取得するのに適した衛星の各種データを、共同研究期間の後半に今後打ち上げ予定である宇宙戦略基金で採択された高分解能・高頻度な光学衛星観測システムの実験機の各種データを提供するものとする。

また、共同研究者は、合意した共同研究協定書に基づき、共同研究実施期間中に災害が発生した地区における、高分解能・高頻度な光学衛星観測システムの実験機の各種データを共同研究者の負担で準備し、国土地理院に提供する。

2) 各種データに対する精度検証

国土地理院及び共同研究者は、各種データの高さ精度や位置精度を検証する。研究に必要な測量成果や画像基準点等の情報は国土地理院及び共同研究者が準備し、必要に応じて共有する。

3) 自動変化抽出手法の開発や地形解析の実施

国土地理院は、各種データを用いた異種画像間の自動変化抽出手法を開発する。さらに、衛星画像に由来する各種データと他手段で取得した各種データとの違いを地形解析の観点から評価するとともに、対象地区の微地形解析を行う。また、必要に応じて共同研究者に関連情報等を共有する。

4) 高精度 3 次元情報取得のための災害時の最適観測手法の検討

共同研究者は、高分解能・高頻度な光学衛星観測システムの実験機に関し、災害時における高精度 3 次元情報を取得するための最適な観測手法の検討を行う。また、必要に応じて国土地理院に関連情報等を共有する。

5) 各種データの技術的及び実利用上の課題に対する意見交換の実施

国土地理院及び共同研究者は、それぞれの進捗に基づき、高分解能・高頻度な光学衛星観測システムの実験機から生成される各種データ等に対する技術的及び実利用上の課題等に対する意見交換を行う。

5. 共同研究の分担

研究項目	研究分担		備考
	国土地理院	共同研究者	
1) 高分解能衛星の多方向観測による画像群から生成された各種データの提供		○	
2) 各種データに対する精度検証	○	○	
3) 自動変化抽出手法の開発や地形解析の実施	○		
4) 高精度 3 次元情報取得のための災害時の最適観測手法の検討		○	
5) 各種データの技術的及び実利用上の課題に対する意見交換の実施	○	○	

○：担当

6. 共同研究の費用及びその分担

各者の研究持ち分を実施するために必要な費用は、その者が負担する。

7. 応募条件

共同研究に応募する者は、以下の条件を全て満たすこと。

- ① 多方向観測による光学衛星画像群を用いて生成された高精度 3 次元データ（DSM、DEM 又は DSM を活用して作成した精密オルソ画像）に対する精度の検証を実施する業務又は研究発表の実績があること。なお、業務又は研究発表の実績を確認できる書類が添付されていなかった場合は評価しない。
- ② 共同研究を実施するために必要な研究代表者及び担当者を配置できること。また、研究代表者又は担当者のうち 1 名以上は、①の実績に関与した者であること。なお、研究代表者又は担当者のうち 1 名以上が①の実績に関与した者であることを確認できる書類が添付されていなかった場合は評価しない。
- ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第三十二条第一項各号に掲げる者に該当しないこと。
- ④ 日本語でのコミュニケーションを容易に行うことができること。
- ⑤ 外国の機関でないこと。

8. 共同研究の実施場所

研究作業は、各者で個別に実施する。研究対象地区としては、つくば市周辺、三浦半島周辺、硫黄島、西之島に加えて、合意した共同研究協定書に基づき共同研究者が国土地理院に高分解能・高頻度な光学衛星観測システムの実験機の各種データを提供する災害発生地区とする。

9. 採択予定数

1 者

10. 公募説明会

研究内容及び応募手続に関する説明会を以下のとおり開催します。参加を希望する方は、令和 8 年 1 月 7 日（水）17:00 までに、16.（2）に記載の宛先にメールでお申し込みください。

日時：令和 8 年 1 月 9 日（金）13:30～

場所：オンライン形式

11. 公募期間

令和 8 年 1 月 13 日（火）～令和 8 年 2 月 13 日（金）

12. 提出書類

共同研究に応募する方は、公募期間内に、以下の書類を 16.（2）に記載の宛先にメールで提出してください。

- ・共同研究応募申請書
- ・添付資料（7. 応募条件①②に示す業務又は研究の実績を確認できる書類、会社定款、会社経歴書等）
- ・共同研究実施期間の前半で、各種データを提供するために使用する光学衛星のスペック等が記載されたカタログ等

13. 共同研究者の決定通知

令和 8 年 2 月下旬 ～ 3 月上旬目途

14. 共同研究協定締結手続き

令和 8 年 3 月中下旬目途

15. 注意事項

本研究は、国土地理院と共同研究者のそれぞれが研究を分担して行うものであり、助成金・補助金等の交付を行う制度ではありませんのでご注意ください。

16. 本件に関する問い合わせ先

（1）研究内容について

地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室 笹川

029-864-5942（直通） E-mail: sasagawa-a96dk@mlit.go.jp

（2）手続き等について

企画部企画調整課研究調整係 五島

029-864-4584（直通） E-mail: gsi-kenkyu@gxb.mlit.go.jp